



いばらきの味覚

常陸秋そば

江戸時代からそばどころとして知られていた茨城県。歴史ある産地ゆえに各地でさまざまな在来種が作られていました。品質の高い統一品種をお届けしたいとの思いから、昭和53年茨城県農業試験場（現茨城県農業総合センター）が在来品種を使い、選抜育成をスタート。県内在来種の中で当時最もおいしいと言われていた金砂郷（かなさごう）在来種を親として採用しました。さらに、実の粒を大きくし、収穫量を増やすとともに、粒形を揃えることで製粉の効率を高めることに成功。こうして茨城の気候に適したブランド品種「常陸秋そば」が誕生したのです。昭和60年には県の奨励品種として採用されています。

主な内容

- ▼ 石井大臣と石津会長が対談
- ▼ 佐藤氏と上月氏に推薦状
- ▼ 県が公共事業費 89 億円補正

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス（法令遵守）をさらに徹底します

発行（一般社団法人）茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

建設業の役割に期待

石井国土交通大臣と石津会長が対談

関東・東北豪雨から3年一。われわれ地元建設業者は、災害発災直後から現場に駆けつけ、復旧作業に尽力しました。西日本豪雨や北海道地震など大規模災害が相次ぐ中、社会インフラの整備や老朽化対策など国土強靱化の取り組みでも大きな役割を担っています。こうした現状を踏まえ、本会の石津健光会長と石井啓一国土交通大臣は、地域建設業の役割などについて対談を行いました。



石津健光本会会長

地域に建設業をPR

国土強靱化は最重要



石井啓一国土交通大臣

相次ぐ大規模災害

－関東・東北豪雨からの復旧・復興

石井大臣 この水害を契機に、社会全体で洪水に備える水防災意識社会を再構築しようという取り組みを始めました。具体的に「鬼怒川緊急対策プロジェクト」と銘打って、ハード、ソフト両方の対策を行ってきました。

現在の進捗状況は6月末時点で、完成と整備中を含め、堤防の整備は約33%、河道の掘削は約60%。堤防整備に必要な用地も約83%の取得が完了し、順次整備に着手しています。平成32年度の完成に向け、工事が最盛期を迎えている状況です。

施工においては、情報通信技術（ICT）を活用した「i-Construction」を導入するなど、生産性向上や働き方改革も積極的に進めています。

石津会長 混乱した状況下で、会員各社は地元住民の要望に応えながら、バリケードによる通行止めや氾濫河川への土のう積みなど応急復旧活動に尽力す

るとともに、道路を阻むガレキや木々の撤去作業等にも奔走しました。警備員も頼めない状況の中、24時間、作業に当たったわけです。その後も大量に流失した土砂の撤去作業や車両による路面の清掃等、本会会員が一丸となって活動に取り組み、地域社会に貢献する建設業として使命を果たすことができたと思っております。

地元の方々が安心して住める地域づくりは、われわれの使命です。あのような想定外の災害が起きて、これからどう取り組んでいかなければならないかを改めて勉強させられた思いです。

－国土強靱化の重要性について

石井大臣 国土強靱化の取り組みは、国全体のリスクマネジメントです。国土強靱化は文字通り、強くなやかな国づくり。国民の命と暮らしを守るだけでなく、持続的な経済成長や地方創生、地域活性化を推進するもので、政府の最重要課題の一つです。

災害時の避難や災害後の物資輸送に支障が出ないよう、現在整備中の道路でまだつながっていない「ミッシングリンク」の解消が重要です。茨城県内でいえば、

石井大臣 地域の守り手として活躍を — — 安全安心な社会実現に尽力 石津会長

東関東自動車道水戸線ですね。ミッシングリンクとは違いますが、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の4車線化もあります。無電柱化の推進や、緊急物資などの輸送路確保に加え、港湾や空港、鉄道などインフラの耐震化



と老朽化対策、住宅や自治体庁舎をはじめとする建築物の耐震化なども進める必要があります。

今後もハード、ソフトの政策を総動員して、事前の防災・減災、インフラの老朽化対策など国土強靱化の取り組みをしっかりと進めていきます。

石津会長 われわれの仕事にも直結することですから、最重要な取り組みと考えています。地震災害が多い中、強靱化について、国民や県民の理解も得やすくなったのではないのでしょうか。

本県でも国土強靱化について数値目標を設定して取り組んでいます。大震災では鹿行大橋の一部が崩落し、車が転落して1人が亡くなりました。それを踏まえ、特に橋梁の耐震化には力を入れています。

地元の方々が安心して暮らせることが生活の基盤です。そのためにも強靱化の取り組みについて、国を挙げて進めていただきたいと切に願っております。

働き方改革やICT導入促進

— 地域建設業者への期待、地域建設業者としての役割

石井大臣 地域の建設業は、社会資本整備の担い手であると同時に、災害時には最前線で地域社会の安全安心の確保を担っていただく地域の守り手として重要な存在です。今後もこうした役割を担い続けるためには、地域の建設業がしっかりと存続し続けていくことが重要です。

少子高齢化が進む中、将来の担い手確保のためには、長時間労働の是正や週休2日の確保といった働き方改革が喫緊の課題となります。そのため、今年

3月に建設業働き方改革加速化プログラムを策定しました。

引き続き、地域の守り手として災害対応などにご活躍いただくとともに、担い手の確保に向けた働き方改革にも積極的な取り組みを期待しています。

石津会長 大臣からありがたいお言葉をいただき、われわれも地域の守り手として責任ある行動をしなければと身の引き締まる思いです。若手人材の確保に向けた働き方改革とともに、生産性向上に向け、ICTの導入促進などの取り組みを進めていきます。

毎年開催している建設フェスタでは、子どもたちは重機の体験乗車などを通じて建設現場に興味を持ってくれます。ただ、就職を考える年になるころには、だんだん興味が薄れてしまう。地方の業者に入職するのは、ほとんどが地元の方です。高校生や中学生を対象に現場実習や見学会を開くなどして、地域に向けて建設業界をPRしていきます。

ただ、最近では入職を希望する若者から「土日は休めますよね」と必ず言われるんです。

石井大臣 今の子は、週休2日が当たり前の世代ですからね。

石津会長 どの業界も人手不足ですが、なんとか若手の入職を進めていきたい。建設業界は、地域を守るのに絶対必要ですから。そのためにも、国交省や県に加え、市町村にまで建設業界への理解を浸透させていきたいと考えております。

建設業界はICTを駆使した最新機器の導入が進み、若者が興味を持てる分野だと思います。県内には大手建機メーカーのコマツさんや日立建機さんもあります。協会としても、7月に常任理事以上がICTについて学習する機会を設けました。

今後も建設業者が地元の安全安心に貢献できるよう、石井大臣をはじめ国交省の皆さんには今まで以上のご支援をお願いしたいと思っております。

佐藤議員
上月議員

常任理事会で国政報告

来年夏の参議院議員選挙へ推薦決定

本会は9月3日に常任理事会を開催しました。来賓に自由民主党の佐藤信秋参議院議員と上月良祐参議院議員を招き、国政報告をしていただきました。来夏に予定されている参議院議員選挙では、両議員を候補者として推薦することを決定し、石津健光会長が本人に推薦状を手渡しました。

石津会長は冒頭のあいさつで、佐藤議員について「来年に施行から5年を迎える品確法を含む担い手3法の改正など、引き続きわれわれ業界のためにご尽力いただきたい」と話しました。



佐藤議員に推薦状を手渡しました



上月議員に推薦状を手渡しました

上月参議院議員については「関東・東北豪雨の際に復旧・復興予算の確保に奮闘していただいたことは記憶に新しい」と述べました。

その上で、「両先生ともわれわれ建設業界にとって大変頼りになり、心強い存在。ぜひとも引き続き国政の場でご活躍いただきたい」と推薦理由を話しました。

佐藤参議院議員は◆新3K（給与、休日、希望）職場の実現◆設計労務単価の引き上げ◆適正な積算◆落札率の上昇◆経営環境の改善◆公共事業関係費の上昇◆工期の平準化◆事業の長期的見通し◆品確法の改正－について推進していく考えを示し、「国土強靱化など進めるべき課題は多い。皆さまのお力添えをいただき、茨城の建設産業を魅力ある職場にしていきたい」と決意を述べました。

上月参議院議員は、農林水産大臣政務官とし



両議員に国政報告をしていただきました

て精力的に活動してきたことを紹介するとともに、発注のあり方や国発注工事の設計変更、安全衛生経費の確保などに全力で取り組むと強調し、「若者が建設業に魅力を感じられるような施策を進めていく。本県の代表として全体の利益が上がっていくように頑張っている」と意気込みを語りました。

本格運用に向け説明会開催

建設キャリアアップシステム

本会は9月6～19日にかけて、各支部向けに建設キャリアアップシステム説明会を開催しました。来年度からの本格運用開始に備え、システムの概要や利用手順、登録申請手続きなどについて理解を深めました。

6日には水戸支部を対象に行われ、講師の建設業振興基金建設キャリアアップシステム事業推進センターの田中勝明運営管理課指導役兼活用・普及課指導役が、システムの仕組みやメリット、利用料金などについて資料を用いて詳細に説明しました。



建設キャリアアップシステムとは？



技能者一人一人の就業実績や資格を登録し、技能の公正な評価、工事の品質向上、現場の効率化などにつながるシステム。技能者にはICカードが発行され、簡単に就業履歴の蓄積や資格証明ができるようになる。事業者は技能者の就業状況の把握や現場の入場管理などが容易になる。

技能者登録料はインターネット申請が2500円、郵送・窓口申請が3500円。カードの有効期間は10年。事業者登録料は資本金に応じて3000円～120万円(5年ごと)。個人事業主は一律3000円。一人親方は無料。管理者ID利用料(毎年)は1ID2400円。2019年3月までは利用数に関わらず無料。

公共事業費に89億円

茨城県の9月補正予算

ゼロ県債80億円設定

茨城県の平成30年9月補正予算が議会の承認を受けました。一般会計に追加した公共事業費は89億5100万円で、このうち国補公共事業では(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路などの地方道路整備事業に48億1300万円を盛り込みました。ゼロ債務負担行為(ゼロ県債)は80億円を設定。道路整備工事などを年度内に発注・契約し、来年度当初からの着工を目指していきます。

9月補正 公共事業費内訳表
(一般会計)

(単位：百万円、%)

区分	2018当初	2018.9月補正
国補	土木	76,023
	農地	11,113
	農林	3,214
	政策・産業	37
	計	90,387
県単	土木	21,601
	農地	851
	農林	718
	計	23,170
小計	113,557	8,951

9月補正予算 主な事業計画箇所

【国補公共事業】 ▼道路＝44億400万円(国道354号境岩井バイパスほか) ▼橋梁補修＝4億900万円(息栖大橋ほか) ▼浸水対策＝2億5600万円(八間堀川ほか) ▼治水直轄＝7億9100万円(鬼怒川ほか)

▼県営かんがい排水＝5億6100万円(中野東2期ほか)

【県単公共事業】 ▼道路＝7億4500万円(伏木坂東線ほか) ▼路面再生＝5億7500万円(水戸神栖線ほか)

▼交通安全施設＝1億7000万円(谷田部牛久線ほか) ▼河川防災＝1億8800万円(沢渡川ほか)

自然災害への備えが課題

全国建産連が会長会議

全国府県建設産業団体連合会（渡邊勇雄会長）は9月11日、福島県郡山市のホテルハマツで会長会議を開催しました。

冒頭のあいさつで渡邊会長は「建設業界の長時間労働の是正、週休2日の確保等の働き方改革やi-Constructionについて積極果敢に取り組む」と決意を表明しました。

来賓の鈴木英二郎国土交通省大臣官房審議官は「平成31年度の概算要求では防災・減災対策等に本年度比1.19倍の6兆1736億円の公共事業予算を設定した。担い手の中長期的な確保を今後も進める」と協力を約束しました。

会議では各府県建産連提案議題として、公共事業予算の安定的・継続的な確保、31年度当初



渡邊会長

予算の大幅増額確保と30年度大型補正予算の早期編成、地元建設業の受注確保、建設現場における生産性向上、週休2日制導入のため設計労務単価のさらなる引き上げ、適正な労務賃金支払いの確認方策などがあり、国交省等がそれぞれ回答した。

決議要旨

- ①平成31年度当初予算の大幅な増額確保および早期補正予算編成
- ②国土強靱化計画の早期実施と中長期の投資期間の設定と特定財源創設
- ③公共工事発注の地域間格差是正と地方産業の受注機会の確保
- ④調査基準価格の引き上げと予定価格の上限拘束性撤廃
- ⑤施工平準化と納期の分散化推進

2名が功績賞、3社が優良賞

建災防全国大会
本会会員が受賞

建設業労働災害防止協会（建災防）の第55回全国建設業労働災害防止大会が9月20日と21日、横浜市のパシフィコ横浜で開かれ、全国から4750人が集まりました。20日には総合集会在、21日には専門部会が催されました。



錢高一善会長は「建設業における平成29年の死亡災害は323人で、対前年度比9.9%増加するという大変残念な結果となった。さらなる労働災害防止活動への取り組みが必須」と状況を報告し「建災防では墜落・転落災害防止策を重点項目として推進し、キャンペーン期間を5年間実施していく。またニューコスモスの導入による認定制度にも取り組みたい」と方針を述べました。

安全衛生表彰では、本会から大昭工業(株)の木村晃氏、(有)桑名工業所の桑名文雄氏が功績賞を受賞したほか、(株)菊池土建、赤塚工業(株)、(株)魚田土建が優良賞の栄に浴しました。おめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。

大子支部
活動報告

郡山市でICT講習会開催

大子支部（大藤博文支部長）は9月6日、ICT施工に関する講習会をコマツIoTセンタ福島（福島県郡山市）で実施しました。

同支部でのICT講習会は昨年につき2回目。県外での実施は初めてとなります。

座学では、コマツカスタマーサポートの担当者がICT施工や同社が提案するスマートコンストラクションなどについて概要を説明。その後、屋外に場所を移してドローンのデモフライトを見学し、ICT建機の実機にも試乗しました。

大藤支部長は「支部員の皆さまには今後もICTに関する講習会に積極的に参加し、知識を深めていただきたい」と話しました。



座学や実機試乗でICT施工への理解を深めました



太田支部
活動報告

花いっぱい活動 国体へ地域彩る



プランターの運搬・設置を行いました

太田支部（瀬谷實支部長）は9月6日、茨城国体に向けた「花いっぱい運動」に協力するためプランターの運搬と設置を行いました。常陸太田市建設防災協議会（平山巖会長）と協力し、41社が市内の小中学校や幼稚園、保育園などから約1900鉢を回収。マリーゴールド、サルビア、コキアなどを国道349号沿いや山吹運動公園、白羽スポーツ広場へ設置しました。

ちよつと一言



プロバスケットリーグ（Bリーグ）の茨城ロボッツの今季開幕戦を観戦してきました。当日は2,000人の観客で盛り上がり会場全体が一体感に包まれました。試合は1点差で何とかロボッツが勝利しました。翌日の試合も勝利したロボッツは開幕2連勝と幸先のいいスタートを切りました。昨年は終盤に怒涛の17連勝を上げながらあと一步のところまでB1昇格を逃したロボッツですが、今年こそ絶対にB1に上がって欲しいものです。「BE ONE WE MUST」頑張れ！ロボッツ！ (S)

ホンモノに乗れるよ!

みて! 触って! 体験して!

建設フェスタ 2018

国内最大級

親子競演丸太切り



消波ブロックを作ろう!



先端技術体験



建設機械を動かそう!



平成30年 **10月27日** 土

時間 **9:00▶15:30** 小雨決行

会場 **笠松運動公園屋内水泳プール西側特設会場**
茨城県ひたちなか市佐和2197-28

開催の有無については、建設フェスタHPでご確認ください。
(www.kensetsu-festa.com)

ミニ上棟式

[各コース]14:30~ [対象:4歳児~小学6年生]
(天候により中止または時間の変更あり)

常陸那珂港区見学ツアー

[午前便]9:50出発 [午後便]12:30出発
(天候により中止または時間・行程の変更あり)

入場無料

無料駐車場完備

ねば〜る君も来るよ!





建設フェスタ 2018会場

ステージイベント

9:00... 開会式	12:00... 親子共演丸太切り(午後)
9:15... 太鼓演奏	12:45... 図画作品表彰式
9:45... 親子共演丸太切り(午前)	13:00... ねば〜る君の「のび〜る教室」
11:00... ねば〜る君の「のび〜る教室」	13:25... クイズラリー抽選会

ステージ以外のイベントも盛りたくさん!
詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせはお気軽に下記の電話番号まで!

■ 茨城県土木部検査指導課 ☎ **029-301-4370**
www.pref.ibaraki.jp/soshiki/doboku/kensa/index.html

■ (一社)茨城県建設業協会 ☎ **029-221-5126**
www.ibaken.or.jp

■ イベント前日当日のお問合わせ先 ☎ **080-3460-7450**
☎ **080-3720-7460**

詳しくはWEBで! **建設フェスタ**
www.kensetsu-festa.com